

Ville en bord de mer / Ville à 1,350m d'altitude

Bonjour! カメルーンからでまちです。ここ最近の任地エゼカは曇り空が続き、太陽がなかなか顔を出さなくなりました。スコールのように強く降ることもなく、小雨が降ったり止んだり、といった空模様です。気温は20~25℃を行ったり来たりで、去年よりも肌寒く、滅多に着ていない上着が欲しくなります。しかし、それでも薄手のパーカーがあれば十分で、これが年中で最も寒い時期だと思えば、いかに日々の気温が高いかが分かります。

また、この休暇中にブルドーザーで道路が整備されたおかげで、学校に向かう際に使う道の幅が広がりました。新年度から歩きやすくなりそうで嬉しいです。



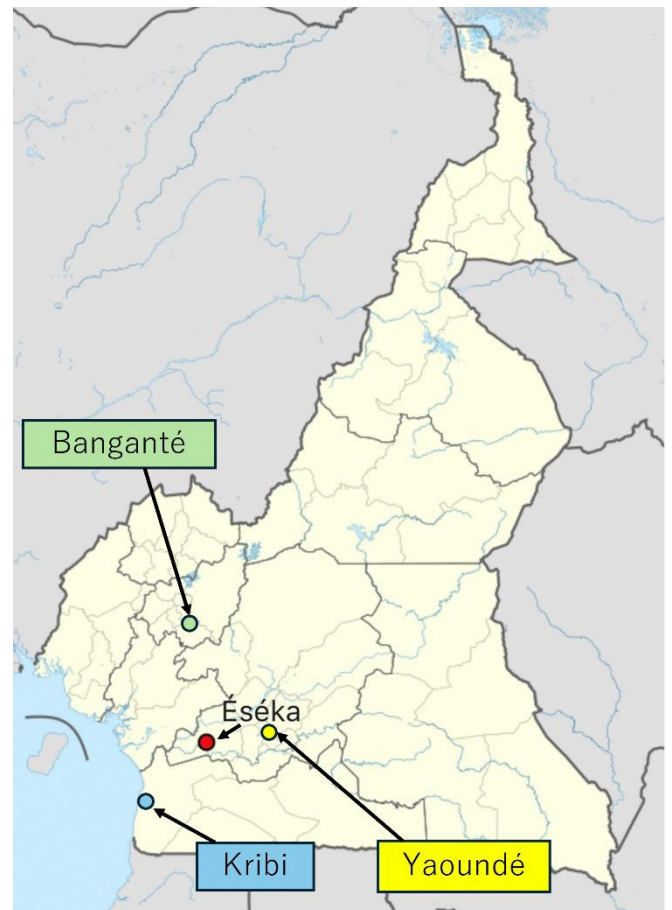
◇漁業が盛んな海辺の町、クリビ。

今回はカメルーンの西部にある都市を紹介します。

まずはクリビ (Kribi) という海辺の町です。首都ヤウンデからバスで約6~7時間。カメルーン南西部にあるこの町は、ギニア湾に面しているため漁業が盛んです。また国内屈指のリゾート地でもあります。日頃海を見る機会は任地に居るとなかなかないので、滞在中は波音に心が癒されました。

クリビの見どころの一つは、ロベの滝です。近場のボートに乗れば、すぐそばまで近づくことができます。高さはありませんが、勢いが強く水しぶきが気持ちよかったです。また、滝の上流に向かう岩登りにも行ってきました。現地のガイドさんの指し示す岩場を上手く歩きながら、上流の池に向かいます。振り向くと素晴らしい景色が広がっていました。

有名な食べ物は魚介類です。他地域ではお目にかかれないサイズの魚、エビ、カニなどがあります。日本の協力で建てられた魚市場があり、新鮮なものが手に入ります。その場で購入し、焼いてもらいます。身が引き締まっていて、食べ応え抜群です。



ロベ (Lobé) の滝



魚市場の新鮮な魚介類

◇農業が盛んな標高の高い町、バンガンテ。

次にバンガンテ (Banganté) という町です。ヤウンデからバスで約 5 時間。標高が 1,350m とヤウンデやエゼカよりも高く、朝夜が涼しく過ごしやすい気候です。毎日開いている市場とは別に、週に二回、大きな市場があります。エゼカでは見かけないナスやダイコンなどの野菜、ヤギなどが売っています。農業が盛んで、至るところに畑があり、トウモロコシや食用バナナがよく植えられています。

バンガンテのある西部州では、県知事や市長とは別に、地域 (部族) ごとに王様がいる文化が残っています。彼らの家はシェフェリーと呼ばれ、地域によっては観光地として、ガイド付きで入場することができます。建物の柱や扉にある様々な模様、文化の違いを感じます。

また、バングラップ (Bangoulap) という避暑地があります。標高のおかげで涼しく、自然の中でリラックスして過ごすことができる隠れた人気スポットです。



赤土が映えるバンガンテの町

シェフェリーの観光ツアー



隠れ避暑地、バングラップ

町によって様々な姿を見せてくれるカメルーン。それぞれの任地で暮らし、活動する隊員のおかげで、カメルーンの魅力をより深く知ることができますね。それでは、A bientôt !